取扱説明書及び部品表

Takakita

スノーブロワ

SB1591E
SB1791E

本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。

株式会社タカキタ

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**スノーブロワ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

●お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
●製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
●この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
●本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
●なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
●ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。**

⚠ 警告　**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。**

⚠ 注意　**その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。**

目　　次

⚠ 安全に作業するために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

本製品の使用目的とサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

トラクタへの装着・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

1. ３点リンケージへの装着のしかた・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. ユニバーサルジョイントの取付け・・・・・・・・・・・・・・ 16
3. コントロールボックスの接続・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

運転に必要な装置の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

1. ソリの高さ調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
2. コントロールボックスの取扱い・・・・・・・・・・・・・・・ 18

作　業　方　法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

1. 作業手順と要点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
2. 移動する時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
3. ＰＴＯの入･切する時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
4. 除雪する時は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

作業前の点検について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

点検一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

簡単な手入れと処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

1. 凍結を防ぐために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2. シェアボルトの交換　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
3. 長期格納時の手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
4. 各部への給油･グリスアップ・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

不　調　診　断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

付　　表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

1. 主要諸元・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2. 主な消耗部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
3. 配線図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。
機械を貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

１．本機を使用するにあたって

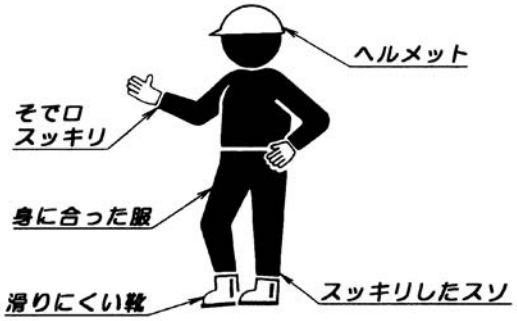
（１）使用する人の条件

次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

●飲酒したとき。
●過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
●妊娠しているとき。
●取扱方法を熟知していない人。

（２）使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



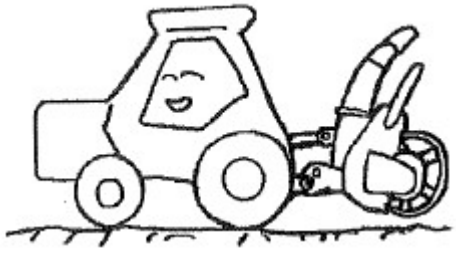
（３）適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

●適応トラクタ馬力

型　式	適用馬力 kW(PS)
SB1591E	13．2～19．1(18～26)
SB1791E	16．2～29．4(22～40)

●3点リンケージ規格:カテゴリーⅠ
●PTO回転速度:540～1000min^{-1}(rpm)
●電源用バッテリ:DC12V



（４）装着時の前後のバランス確認

３点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の２０％以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。不足するときは、トラクタ指定のフロントウエイトを取付けて、２０％以上を確保してください。できなれば装着しないでください。

⚠ 安全に作業するために

（５）バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

（６）機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
また、改造をしないでください。

（７）機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。

２．点検・整備をしてください

（１）１年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、１年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

（２）作業前の点検・整備を忘れずに

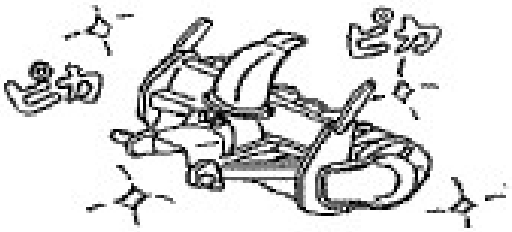
ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

（３）点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でＰＴＯを切り、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。

（４）機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



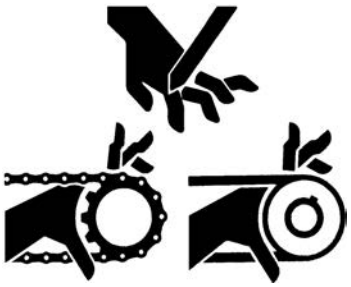
（５）排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。

⚠ 安全に作業するために

（６）カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずＰＴＯを切り、エンジンを停止してから行ってください。
また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



（７）注油・給油するときは

ＰＴＯを切り、エンジンを停止し、回転部分が完全に停止してから行ってください。

（８）長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

３．作業・移動をするときは

（１）人や動物を近づけない

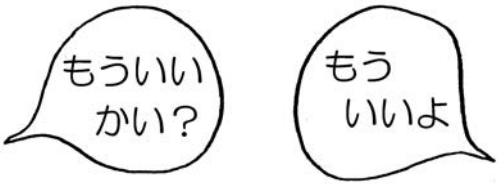
特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

（２）エンジンを始動するときは

ＰＴＯを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。
守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

（３）二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



（４）急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。
また、起状の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

⚠ 安全に作業するために

（５）傾斜地で作業するときは

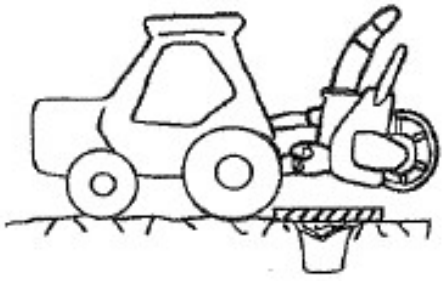
次のことを必ず守ってください。

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。
斜面の作業は､必ず等高線に直角方向に走行してください。

②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。
高速で旋回すると、転倒する危険があります。

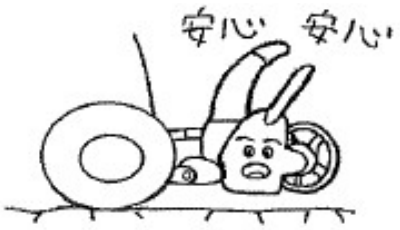
（６）溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



（７）作業途中で運転席より離れるときは

機械を平坦な場所に降ろし、ＰＴＯを切り、エンジンを停止し、駐車ブレーキを掛けてください。
また、トラクタの油圧を下げ、作業機を地面に降ろしておくようにしてください。



（８）回転中のオーガには触れない

回転しているオーガに触れると重傷を負うことがあります｡回転中は手や足で絶対に触れないようにしてください。

（９）シェアボルトの交換や巻き付いたヒモなどを取り除くときは

必ずエンジンを停止し、ブロワ・オーガの回転が完全に停止してから行ってください。

４．作業・移動をするときは

（１）公道走行時は

保安基準を満たさない限り公道走行はできません。

（２）トラックなどへの積込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようにエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。
積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、

これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

５．公道走行するときは

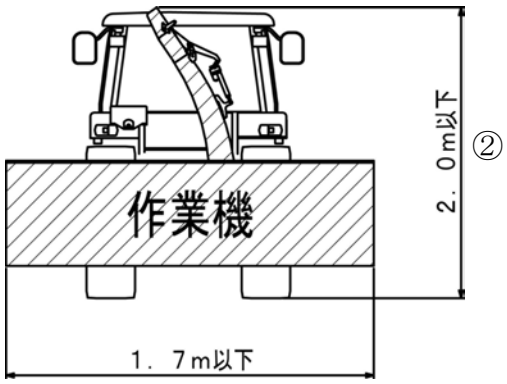
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、直装タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行をする際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い法令遵守して走行してください。

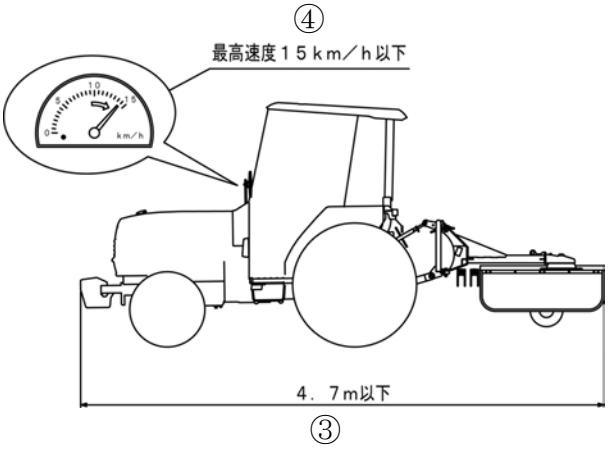
１．必要な運転免許証について

トラクタ単体の場合、道路運送車両の技術基準(保安基準)の適合性を確保できる農耕トラクタであれば**小型特殊免許/普通免許及び大型特殊免許(農耕用に限るも、含む)**で運行可能ですが、トラクタに作業機を装着した場合の寸法が下表①~④の数値をひとつでも上回る場合、**大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)**が必要となります。

① 幅　**1．7m**	② 全高**2．0m**(安全キャブや安全フレーム**2．8m**以下)
③ 全長**4．7m**	④ 最高速度**15km／h以下**

下図を参考にご確認ください。





２．保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。本アタッチを取付ける作業機では全幅が2．5mを超えているため、道路管理者への個別申請が必須となります。

	農業用小型特殊自動車	農業用大型特殊自動車
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを**すべて超えない**場合	公示一括緩和を適用した車両として申請や登録は必要ありません。	全国の運輸支局等で検査登録が必要です。
トラクタに作業機を装着した時の寸法が、全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを**いずれかを超える**場合	・全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 ・道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。	・検査登録が必要です。 ・全長12m、全高3.8mのいずれかを超える場合は、地方運輸局長に個別緩和を申請する必要があります。 ・道路管理者から特殊車両通行許可を得る必要があります。

３．灯火器類・ステッカーの取付け

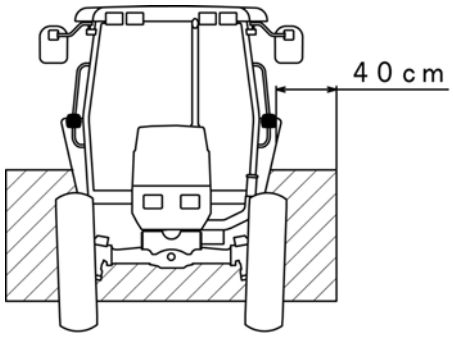
下記フローチャート(1)～(4)を全てそれぞれについてご確認いただき、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

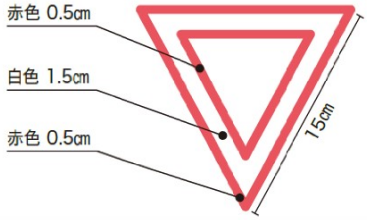
（１）作業機最外側からトラクタの灯火器類までの距離

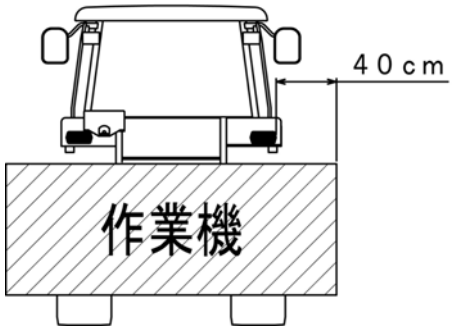
トラクタの後退灯以外の灯火器の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内にある。

YES → (1)での追加装備は必要ありません。

NO → 前面:A.白色反射器
後面:B.赤色反射器
C.制限標識
を取付ける必要があります。



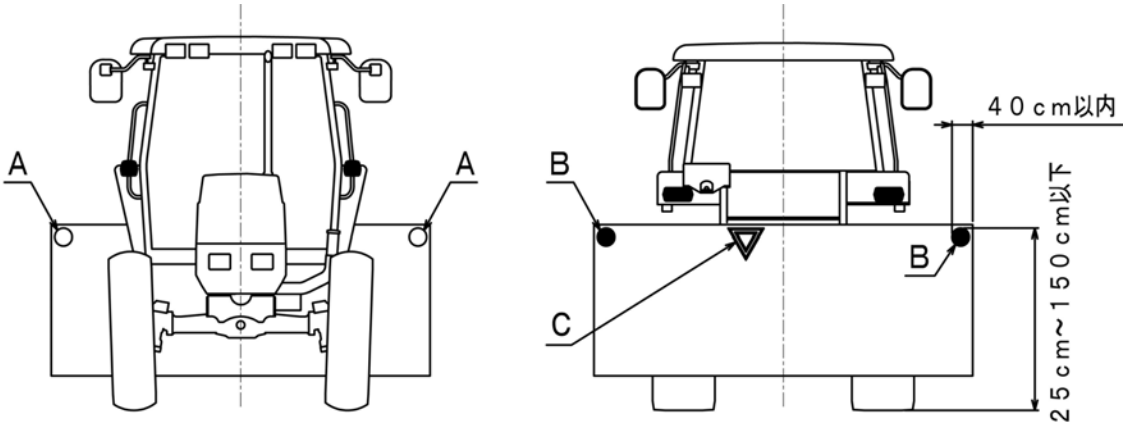
A.白色反射器	B.赤色反射器	C.制限標識
		



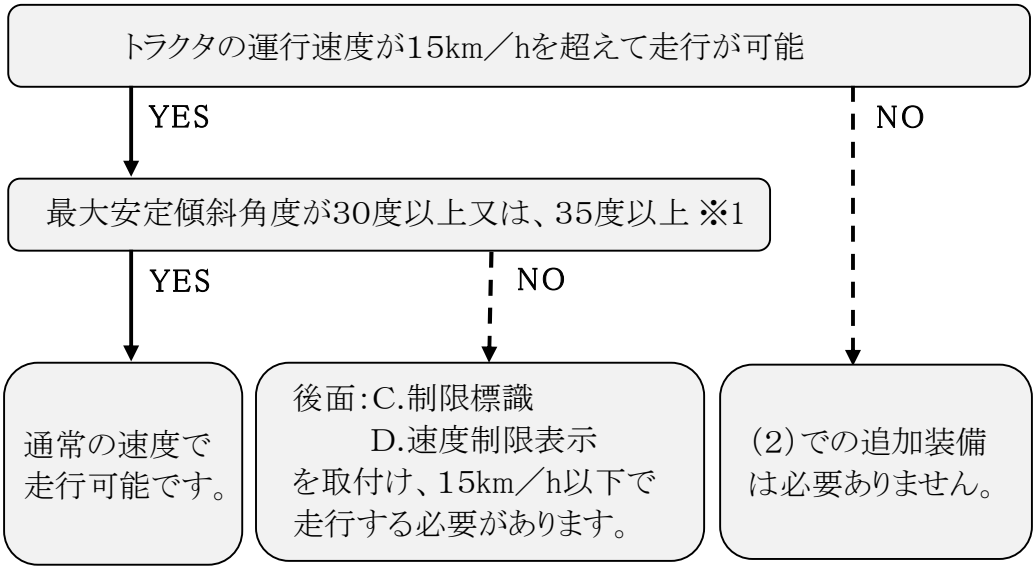
装備の取付け位置

道路運送車両法の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置が定められています。A・Bについては前方・後方から見て、作業機の最外側から40cm以内、高さが地上25cm以上150cm以下の場所に左右対称になるように取付けてください。Cは後方から確認できる位置に取付けてください。

（取付け例）



（２）トラクタの運行速度



※１　運行速度が15km／hに制限されないトラクタと作業機との組合わせについては
日農工のホームページ(http://www.jfmma.or.jp)をご覧ください。
最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km／h以下で走行してください。

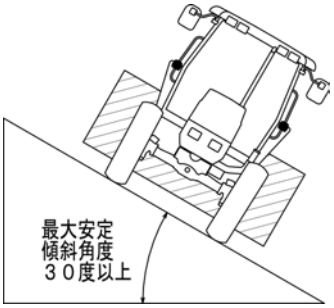
＜安定性に関して＞

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常の速度で道路走行できます。

上記条件を満たない場合は、

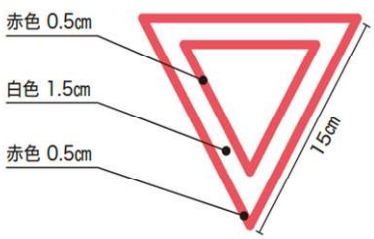
・運行速度15km／h 以下での道路走行
・道路走行をする際に、Ｃを作業機に表示、
　Ｄを作業機・運転席に表示

を行う必要があります。

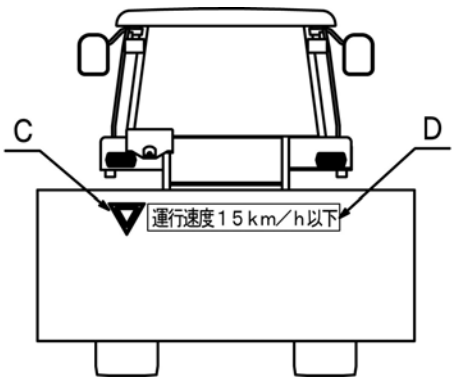


装備の取付け位置

Ｃ・Ｄは後方から確認できる位置に取付けてください。
Ｄは運転席にも表示する必要があります。

C.制限標識	D.速度制限表示
	

（取付け例）



（３）トラクタのコンビネーションランプ（尾灯、制動灯、方向指示器）、後退灯の視認性

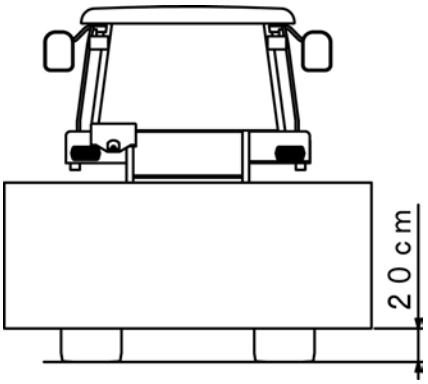
作業機の機体最下部を地面から約２０㎝上げた状態で後方から確認し、トラクタのコンビネーションランプと後退灯が視認できる。

YES

(3)での追加装備は必要ありません。

NO

・後退灯のみ視認できない場合は可能な限りトラクタ上で移設してください。
・コンビネーションランプ、後退灯が視認できない場合は作業機に取付ける必要があります。
※取付けは販売店に相談してください。



装備の取付け位置

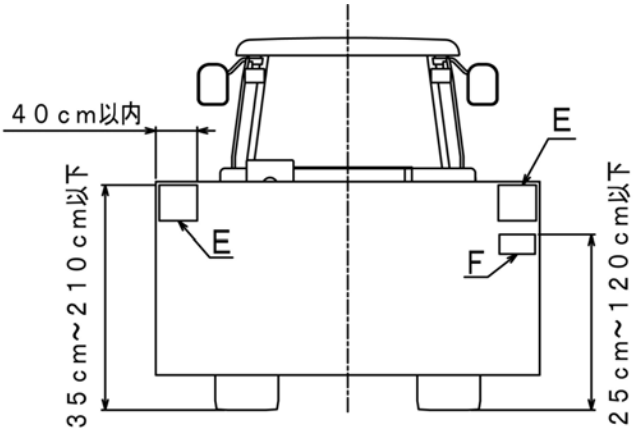
道路運送車両法の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

- 尾灯（テールランプ）　最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 制動灯（ブレーキランプ）　最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
- 方向指示器（ウインカー）　最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
- 後退灯（バックランプ）　高さは可能な限り25cm以上120cm以下

コンビネーションランプは後方から確認（視認）できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。
後退灯は後方から確認（視認）できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

（取付け例）

E.コンビネーションランプ	F.後退灯



※ トラクタから灯火装置の信号が出ているかを確認後、公道走行を行ってください。

（４） 作業機装着時の全幅

作業機幅が1．7m以下

YES

(4)での追加装備
はありません

NO

作業機幅が1．7超～2．5m以下

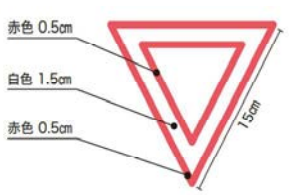
YES

前面:A.白色反射器
後面:B.赤色反射器
C.制限標識
を取付ける必要があります。
*取付けは項目(1)を参照く

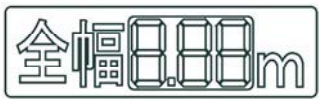
NO

前、後面:H. 外側表示板
両端　　: I. 車幅灯
後面　　:C. 制限標識
後面　　:G. 全幅表示
を取付ける必要があります。
(トラクタの灯火器類が視認可能であり、作業機の最外側から40cm以内にある場合)

C.制限標識



G.全幅表示



※運転席にも表示する必要があります。

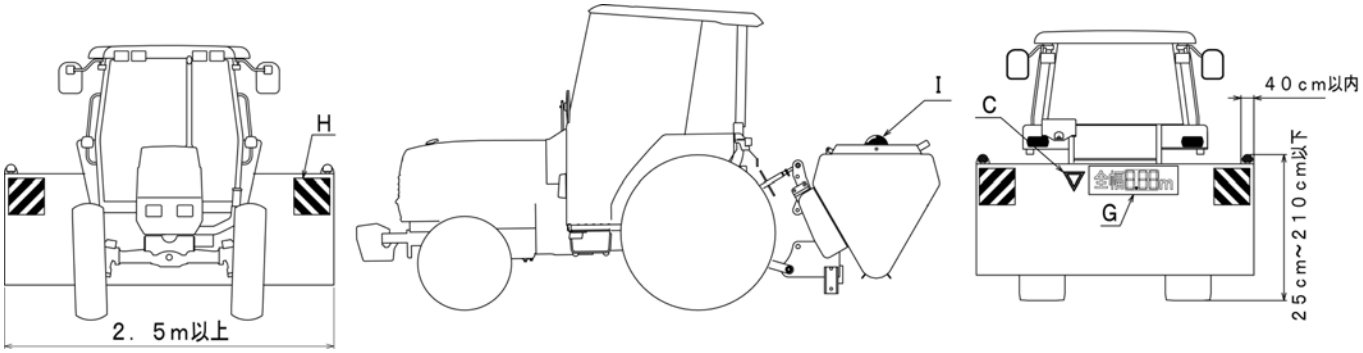
H.外側表示板

I.車幅灯

装備の取付け位置

Ｇ・Ｃは後方から見やすい位置に取付けてください。
Ｈは前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。
Ｉは後方から確認(視認)できる位置で、最外側から40cm以内、
高さは地上25cm以上210cm以下に入るように取付けてください。また前方が白、後方が赤になるようにしてください。

(取付け例)

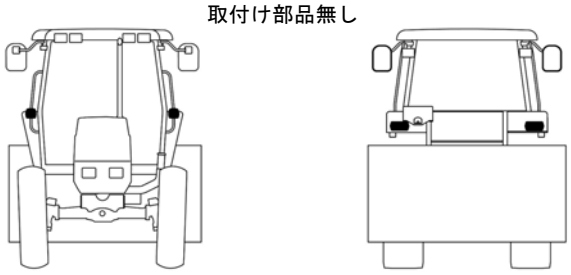
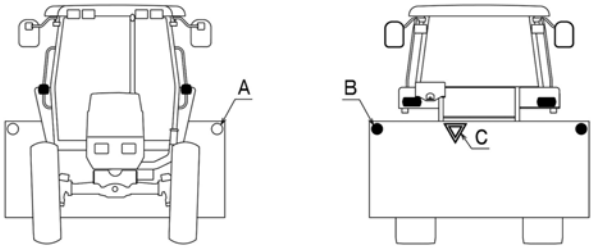
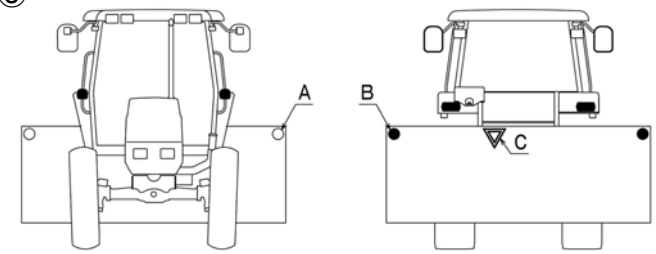
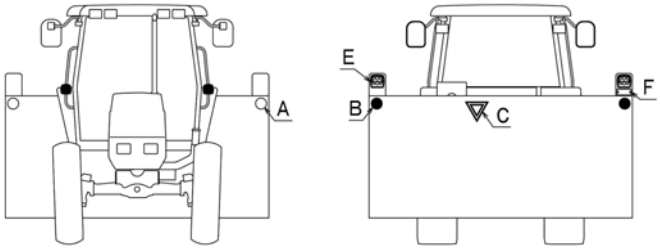


⚠ 安全に作業するために

p.10～11の図は、保安基準による作業機への灯火器類・ステッカーの取付け例です。

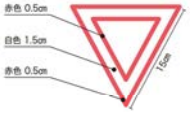
灯火器類・ステッカー取付け例

<table>
<tr><td colspan="3"></td><td>トラクタに作業機装着時の寸法が、全幅2.5m、全高3.8m、
全長12m以下の場合</td></tr>
<tr><td rowspan="4">灯火器類の
視認性

前照灯
車幅灯
尾灯
後部反射器
制動灯
方向指示器</td><td rowspan="3">トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を<u>視認できる</u>場合</td><td>灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合</td><td>①
取付け部品無し
  </td></tr>
<tr><td>灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内、かつ<u>小型特殊免許・普通免許で走行できるトラクタで幅1.7m以上の作業機を取付ける</u>場合</td><td>②
  </td></tr>
<tr><td>作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合</td><td>③
  </td></tr>
<tr><td colspan="2">トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を<u>視認できない</u>場合</td><td>④
例）③に灯火器類を取付け
  </td></tr>
</table>

灯火器・ステッカー

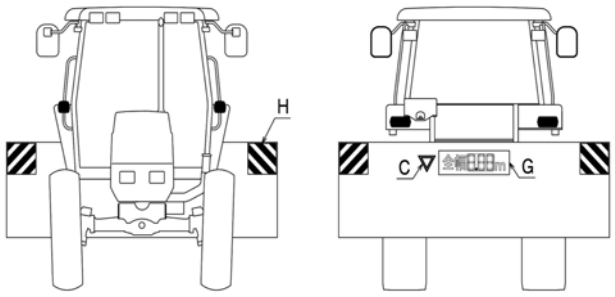
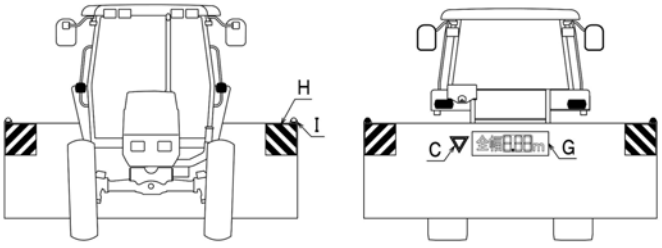
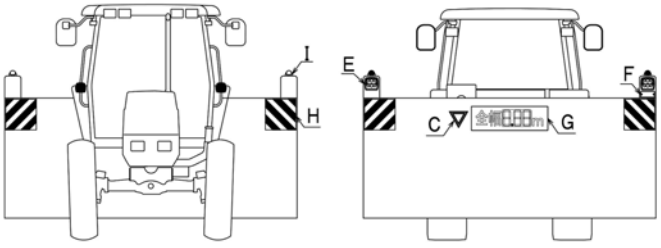
A. 白色反射器　B. 赤色反射器　C. 制限標識　D. 速度制限表示　E. コンビネーションランプ



F. 後退灯　G. 全幅表示　H. 外側表示板　I. 車幅灯

⚠ 安全に作業するために

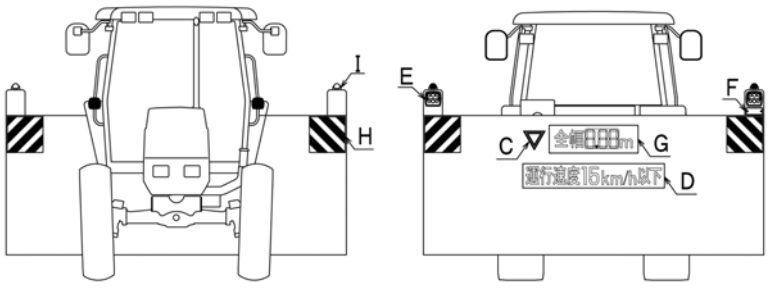
灯火器類・ステッカー取り付け例

<table>
<tr><td colspan="3"></td><td>トラクタに作業機装着時の全幅が2.5mを超える場合</td></tr>
<tr><td rowspan="3">灯火器類の視認性
[前照灯
車幅灯
尾灯
後部反射器
制動灯
方向指示器]</td><td rowspan="2">トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を<u>視認できる</u>場合</td><td>灯火器類の取付け位置が全て作業機の最外側から40cm以内の場合</td><td>⑤
  </td></tr>
<tr><td>作業機の最外側から40cm以上離れている灯火器がある場合</td><td>⑥
  </td></tr>
<tr><td colspan="2">トラクタのコンビネーションランプ・後退灯を<u>視認できない</u>場合</td><td>⑦　例）⑥に灯火器類を取付け
  </td></tr>
</table>

※　全幅2．5mを超過する場合は、道路管理者(国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村)から特殊車両通行許可を得る必要があります。

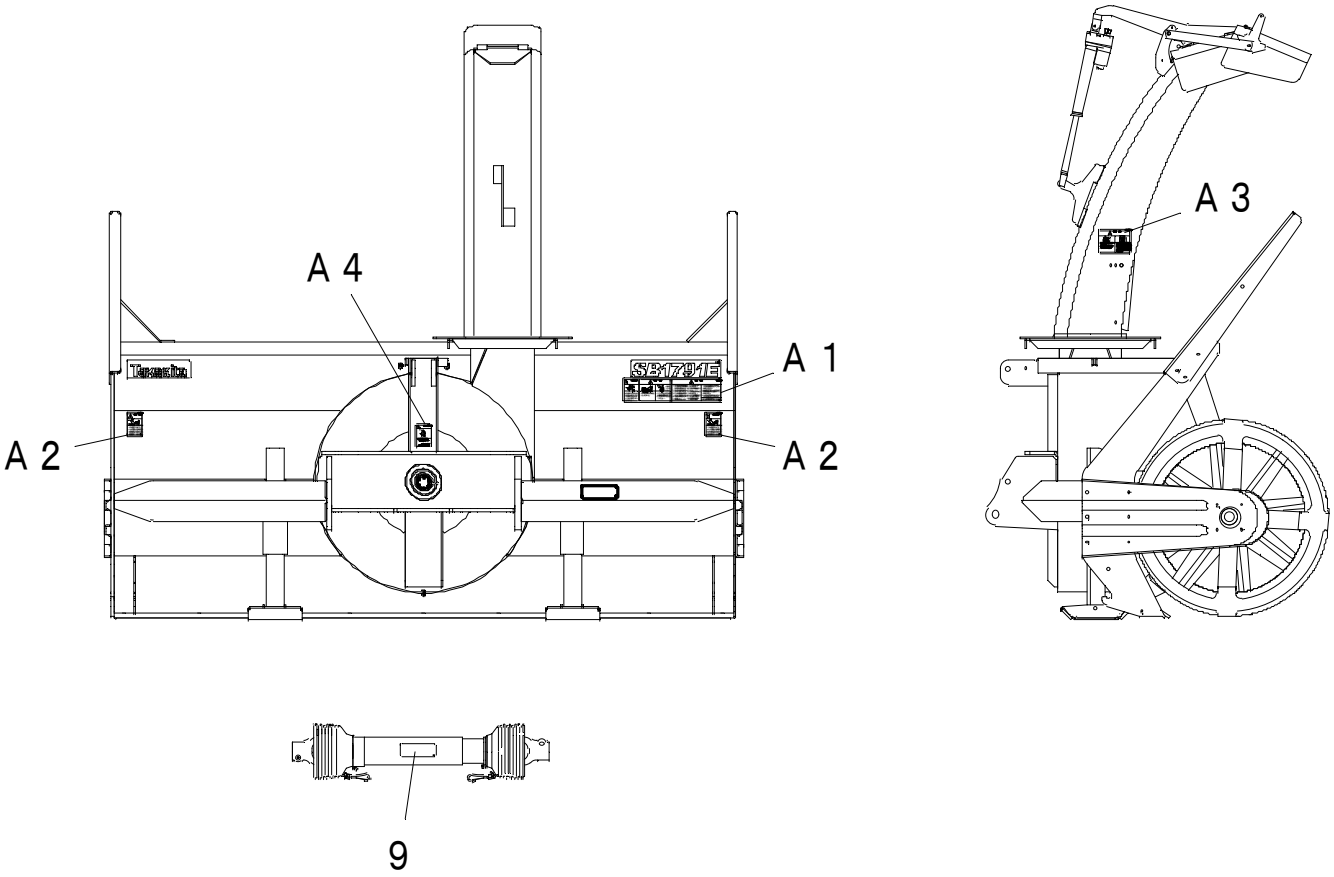
p.7「(２)トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

例）⑦に速度制限表示を追加



詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(http://www.jfmma.or.jp/koudo.html)をご覧ください。その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

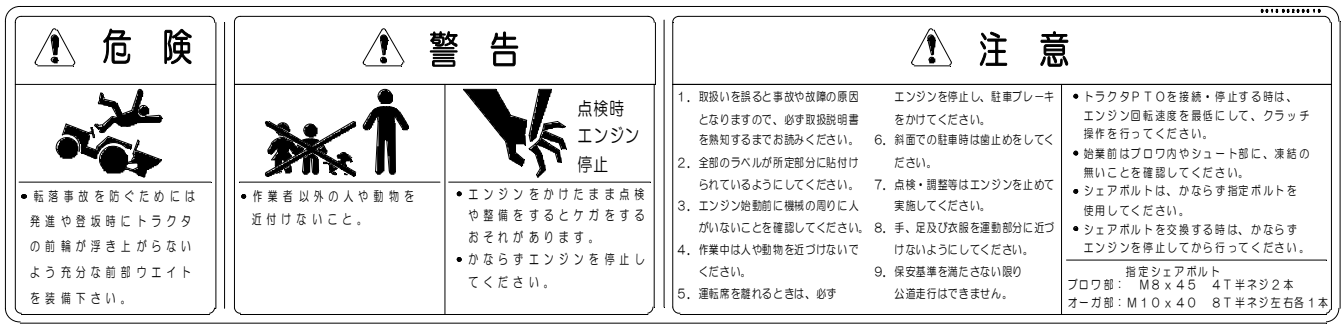
6．警告ラベルの貼付け位置



9. 部品コード 001306951020

⚠ 安全に作業するために

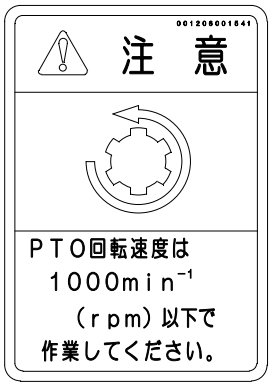
A1. 部品コード 001306200610



A2. 部品コード 001306200031

A3. 部品コード 001306200050

A4. 部品コード 001206001541



警告ラベルの取扱い注意事項

（1）警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。

（2）傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。（ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。）

（3）警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。

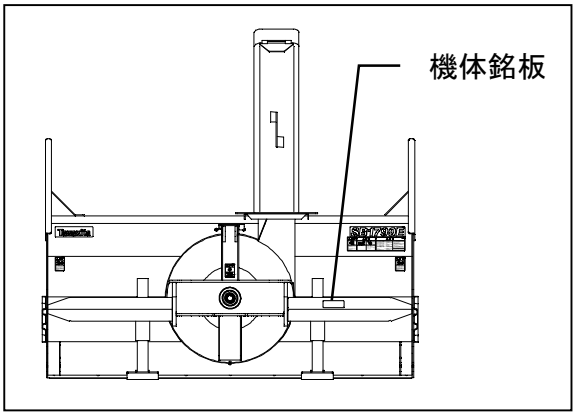
（4）新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、除雪作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

（機体銘板貼付け位置図）



アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、ＪＡ（農協）、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。

【連絡していただきたい内容】

- ●品名と型式
- ●機体 No.（ＳＥＲ－Ｎｏ）
- ●ご使用状況は？
  （どんな条件でどんな作業をしていたときに）
- ●どれくらい使用されましたか？
  （約○○アール、または約○○時間使用後）
- ●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体№は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品　　名	スノーブロワ
型　　式	
機 体 № （SER－№）	
購入年月日	年　　月　　日
販売店名	TEL：　　（　　）

各部の名称とはたらき

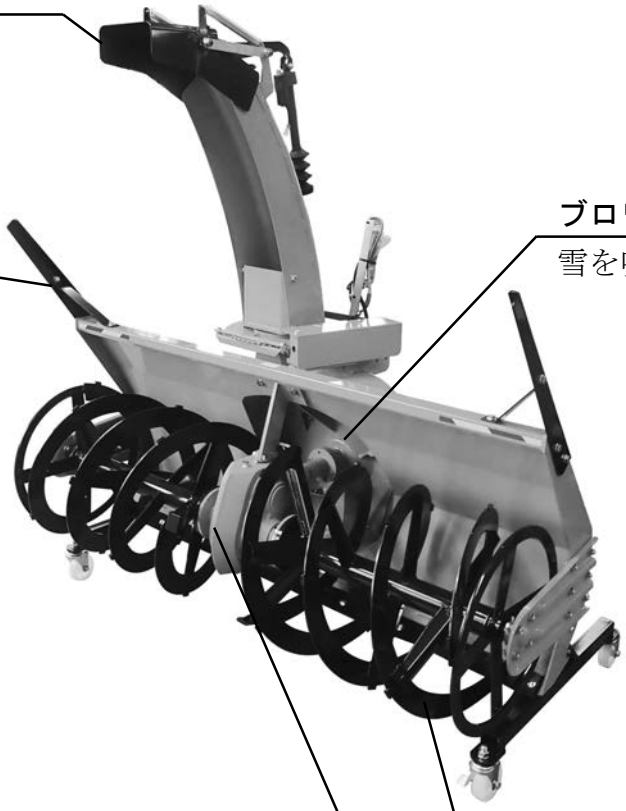
電動シリンダ
デフレクタを上下する

シュート
投雪方向を変える

雪落とし棒
詰まった雪を取り除く時に使用

ソリ
除雪高さ・姿勢を調節する

デフレクタ
投雪角度を変える



ブロワ
雪を吹き上げる

カッティングエッジ
雪を崩す

コントロールボックス
運転席よりシュートの旋回及びデフレクタを上下する

ミッション
オーガ・ブロワを回転させる

オーガ
雪を中央へ寄せる

トラクタへの装着

⚠ 警 告

●トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
●３点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、２人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
●ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを停止し、ＰＴＯクラッチを切ってから確実に取付けてください。
以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆ ３点リンケージの装着順序

左のロワーリンク、右のロワーリンク、トップリンクの順序で取付けてください。
装着後必ずスタンドは取外してください。

◆ 水平状態に調整するには

トラクタ側のトップリンクおよびリフティングロットを使用して、本機が水平になるように調整してください。

◆ チェックチェーンで横振れ調整

運搬および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心に本機の中心が一致するように左右均等に固定してください。

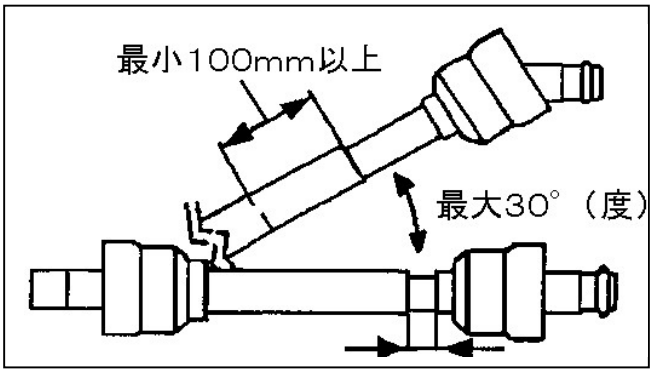
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタＰＴＯ軸に確実に取付けてください。

◆ ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、３点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。
先にジョイントの長さを確認し、長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注 意

●作業時のジョイント角度は最大30°（度）を超えないよう調整してください。
30°（度）を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆ カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

３．コントロールボックスの接続

◆電源はトラクタのバッテリから取出します

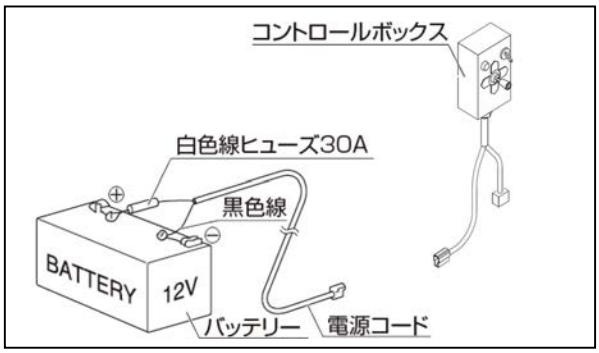
コントロールボックスの電源は、トラクタのバッテリより取出します。

◆接続できるバッテリの電圧は１２Ｖです

24Vのバッテリに接続しないでください。
間違って接続すると、コントロールボックス内部の機器が破損します。

◆（＋）、（－）の接続を間違えないように

白色線はバッテリの(＋)へ接続
黒色線はバッテリの(－)へ接続



注 意

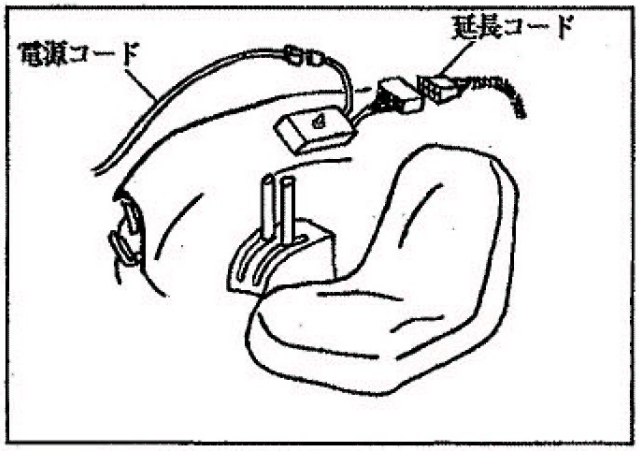
（＋）（－）の接続を間違えると、コントロールボックスの電源ランプは点灯しません。

警 告

接続の順序は(＋)側から行ってください。
また、取外すときは(－)側から行ってください。
逆にすると、火花が飛び危険です。

◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックスの裏側には永久磁石を装着しています。操作がしやすいようにトラクタの運転席右側の金属製フェンダなどに吸着させて取付けてください。

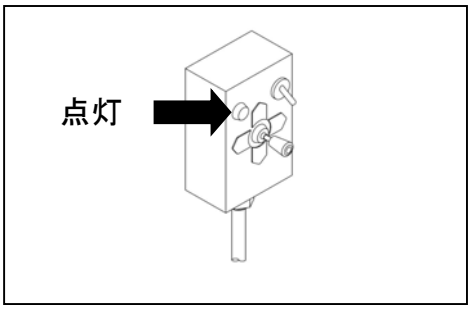


◆配線の接続

電源コードと延長コードをそれぞれコントロールボックスに接続します。
配線が作業の邪魔にならないようにトラクタに固定してください。

◆電源ランプの点灯確認

配線の接続が終了したら、コントロールボックスの電源ランプが点灯していることを確認してください。
電源ランプがつかないときは、電源コードのヒューズが切れていないか、
バッテリの(＋)と(－)が逆になっていないか、コネクタがきちんと挿し込まれているかを確認してください。



◆作業終了後は取外して屋内保管

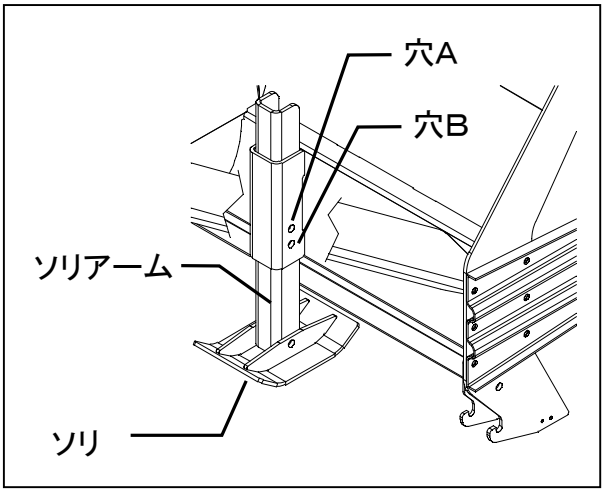
作業終了後は、コントロールボックスを電源コード･延長コードのコネクタより切離し、水などがかからない屋内に保管してください。

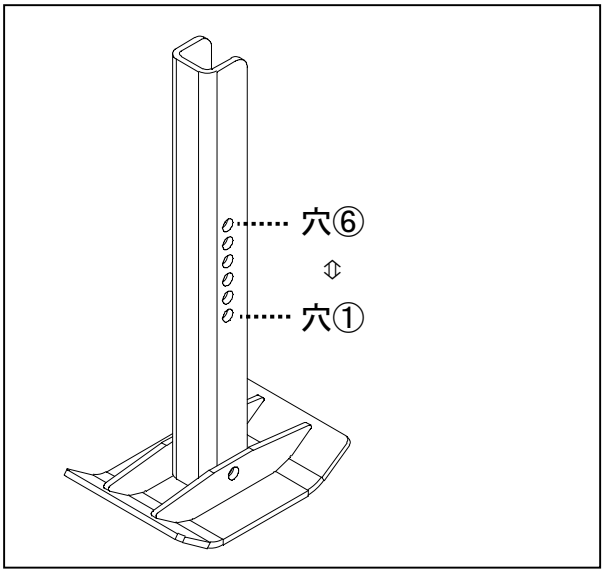
運転に必要な装置の取扱い

1．ソリ高さ調整

◆ソリアームの穴位置で調整

通常の作業を行う場合は、
「穴Ｂ」と「穴②」を使用します。





- 新雪などの「やわらかい」雪のときは、「穴Ｂ」と「穴③」を使用し、機体姿勢は水平。
- 通常の雪質のときは、「穴Ｂ」と「穴②」を使用し、機体姿勢は水平。
- 圧雪状態などの「かたい」雪のときは、「穴Ｂ」と「穴①」を使用し、機体姿勢はやや前傾。

傾斜面、石などの多い場所などは、条件によって多少異なりますが、目安として上記の使い方をお勧めします。

●ソリの高さと使用する穴位置
「穴Ａ」と「穴Ｂ」を使用する事で、10mm間隔の高さ調整が可能です。

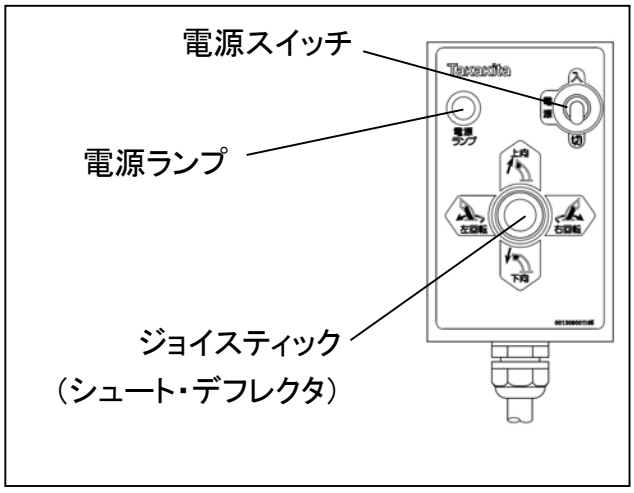
ケースの穴	ソリの穴	ソリの高さ
B	①	低
A	③	
B	②	
A	④	
B	③	
A	⑤	
B	④	
A	⑥	高

2．コントロールボックスの取扱い

◆コントロールボックスの操作

コントロールボックスのジョイスティック操作により、シュートの旋回(左右)デフレクタの上下を行います。

●コントロールボックスの構造



●コントロールボックスには、過負荷になると高温となり回路を遮断する装置が内蔵されています。
過負荷となってシュート・デフレクタが動かなくなった場合は、凍結等の過負荷の原因を取り除き、コントロールボックスの電源を切って30秒程度お待ちください。その後コントロールボックスの電源を入れて作業を再開してください。

運転に必要な装置の取扱い

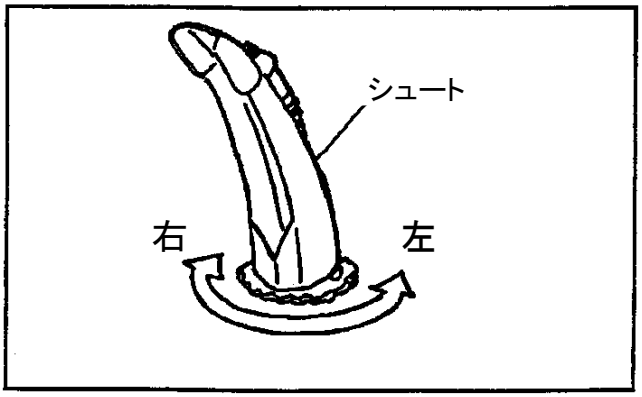
◆シュート旋回の操作

ジョイスティックを

右に倒すと　右旋回　　します。

左に倒すと　左旋回　　します。

ジョイスティックより手を離すとシュートの動きは止まります。



注 意

シュートを回転させる際は、デフレクタ用電動シリンダのハーネスの長さに気をつけながら回転させてください。一方向に必要以上回転させるとハーネスが切断する恐れがあります。

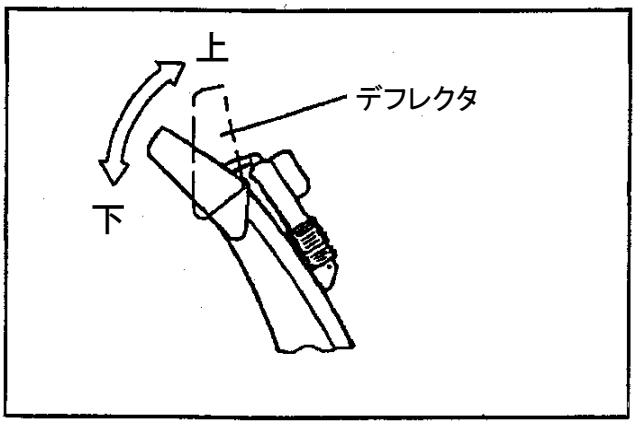
◆デフレクタ上下の操作

ジョイスティックを

上に倒すと、上向きに動きます。

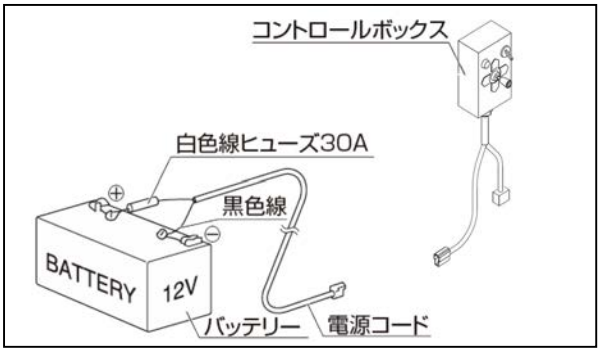
下に倒すと、下向きに動きます。

ジョイスティックより手を離すとデフレクタの動きは止まります。



※シュートやデフレクタが凍結して動かない場合があります。凍結を取り除いてからジョイスティックを操作してください。

●ジョイスティックを操作してもシュートやデフレクタが動かないときは、電源コードについているヒューズが切れている場合があります。配線関係をチェックし、ショートなどが無いことを確認し、ヒューズを交換してください。



注 意

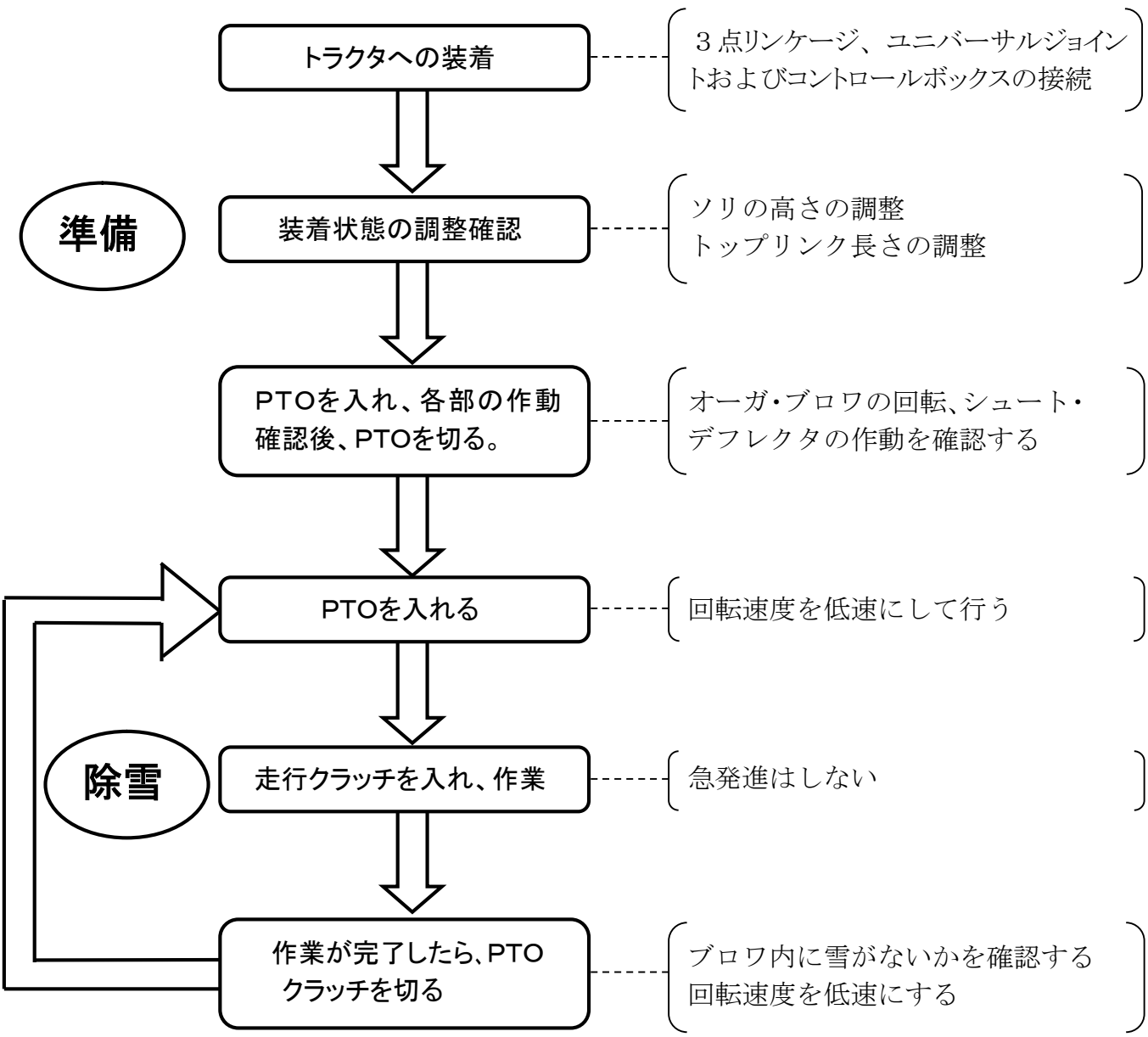
ヒューズを交換する場合は、必ず指定容量のものをご使用ください。

・電源コード用：３０Ａ

指定容量以外のヒューズは使用禁止

作業方法

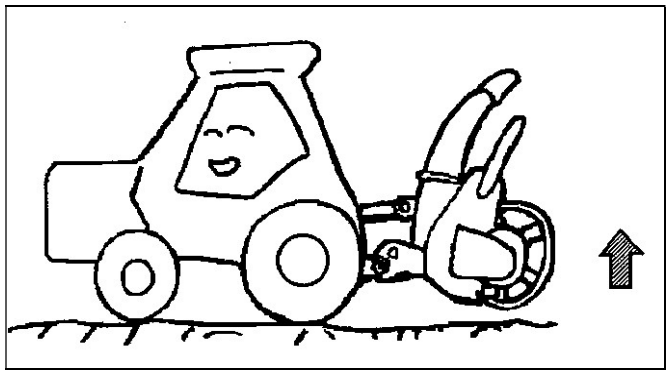
1. 作業手順と要点



２．移動するときは

◆ 本機を上げる

移動するときは、必ず本機を十分な高さまで３点リンケージで吊り上げてから走行してください。



警 告

① 本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。
絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。

② カーブを曲がるときは、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

３．ＰＴＯの入・切する時は

◆ エンジン回転速度を下げる

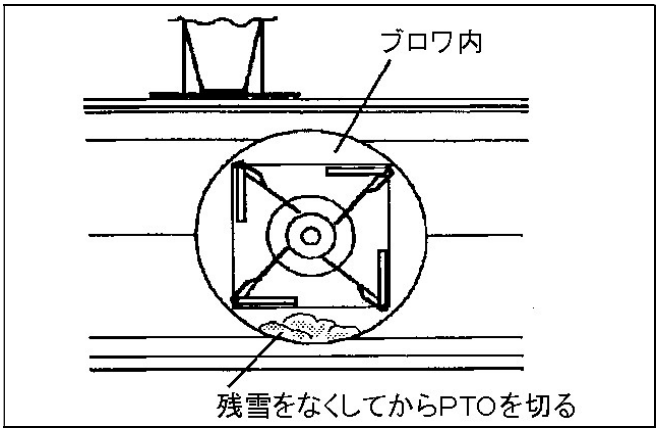
トラクタＰＴＯの接続・停止をするときは、エンジン回転速度を最低にしてクラッチを操作してください。

注 意

ＰＴＯの接続・停止を高速回転で行うと、シェアボルトの切断や本機損傷の原因となりますので、行わないでください。

◆ ブロワ内の残雪をなくしてから ＰＴＯを切る

ＰＴＯを停止するときは、３点リンケージを少し上げてブロワ内の雪をなくした状態にしてからＰＴＯを停止してください。



４．除雪するときは

◆ 人や動物を近づけない

●作業中は、絶対に人や動物を近づけないようにしてください。

●投雪口を人や動物に向けないでください。

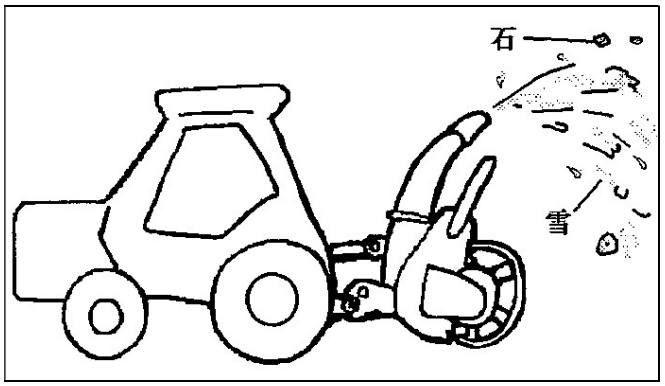
◆ 建物などが近くにある場合

●投雪距離を考慮し、デフレクタを操作して安全に作業してください。

●小石・木片などは雪より遠くに飛びますので、特に注意してください。

注 意

砂利道など小石のある所での除雪は、石を跳ね飛ばし危険です。
ソリを下げ、オーガを地面より浮かせて作業してください。



◆ 新雪での除雪に心掛ける

爪付きオーガのため凍結した雪でも十分作業できますが、オーガの消耗・トラクタの過負荷を防ぐためにも新雪状態での除雪をお勧めします。

◆ 作業速度とトラクタタイヤ巾について

●作業速度は通常0．3～0．4km／h近辺の変速位置で作業してください。

●トラクタタイヤ外巾は

SB1591E　1590mm以下

SB1791E　1740mm以下

にそれぞれ調整してください。

上記以上になりますと、安定した除雪ができません。

◆ ＰＴＯの回転速度について

通常の除雪作業を行う場合、トラクタのＰＴＯ回転速度は500～1000min^{-1}(rpm)で行ってください。

トラクタ馬力、雪質の違いにより1000min^{-1}(rpm)まで上げるとエンジン回転数がダウンする可能性があります。その場合は、車速を遅くするかＰＴＯ回転速度を下げて作業してください。

⚠ 警 告

ブロワ内に詰まった雪を取り除くときは、必ずＰＴＯを切り、エンジンを停止してから付属の雪落し棒で取り除いてください。

これを怠ると、重大な傷害事故につながります。

⚠ 注 意

●３点リンケージを持ち上げ、ユニバーサルジョイントに30°（度）以上の角度がついた状態での作業は行わないでください。

●ジョイントや本機破損の原因となります。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警 告

●取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
●点検整備をするときはＰＴＯを切り、エンジンを停止し、回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項　　目	内　　容	参照ﾍﾟｰｼﾞ	ﾁｪｯｸ
1	ユニバーサルジョイント	取付けは完全か	16	
2	オーガへヒモなどの巻付き	ヒモなどの巻付き物を除去	—	
3	ブロワ・シュートの凍結	凍結面を解除	24	
4	シュート・デフレクタ	シュートの旋回・デフレクタの動きは正常か	18 19	
5	各部への注油・グリスアップ	各部への注油は十分か	26	
6	各部のボルト・ナット	ゆるみ、ガタつきがない	—	

以上について異常が認められない場合は、ＰＴＯ回転速度500～1000min^{-1}(rpm)まで徐々に上げ、１～２分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点　　検　　メ　　モ

簡単な手入れと処置

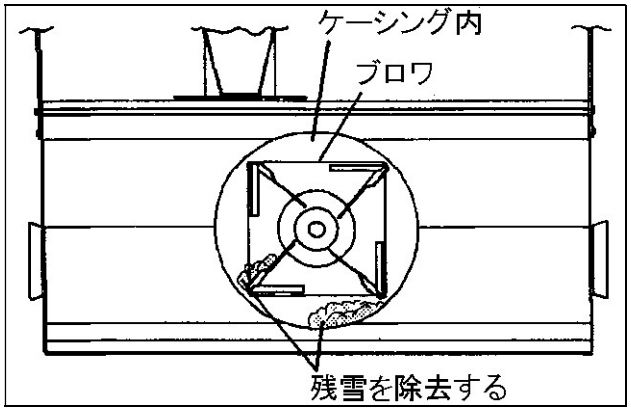
⚠警 告

① 各部の調整をするときは、ＰＴＯを切り、エンジンを停止して回転部が完全に止まってから行ってください。
② 取外したカバー類は必ず取付けてください。

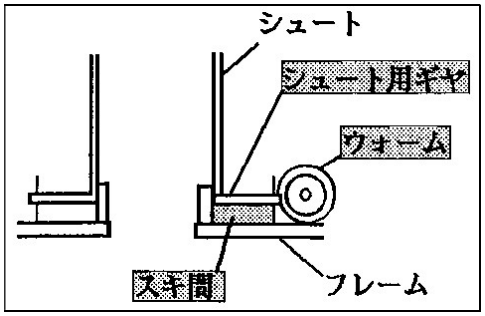
１．凍結を防ぐために

◆ 作業終了後は雪を取り除く

●ブロワの凍結を防ぐために、ケーシング内に残った雪や、ブロワに付着した雪を取り除いてください。



●シュートの凍結を防ぐために、シュート旋回用ギヤとフレームの間・ウォームに雪が入った場合は、必ず取り除いてください。雪を取り除いた後グリスを塗ってください。



注 意

シュートが凍結したときはシュートを手でゆすり、凍結を解除してグリスを塗り、旋回することを確認してください。

◆ 屋内に入れる

作業終了後は、必ず屋内に入れて保管してください。

２．シェアボルトの交換

シェアボルトはブロワ部、オーガ部(左右)に組入れています。
過負荷がかかったとき、ボルトがせん断され、ブロワ、オーガの回転が停止します。

◆ シェアボルトのサイズ

●ブロワ部
ボルト　M8×45(強度4T)
半ネジ　2本

●オーガ部
ボルト　M10×40(強度8T)
半ネジ　左右各1本

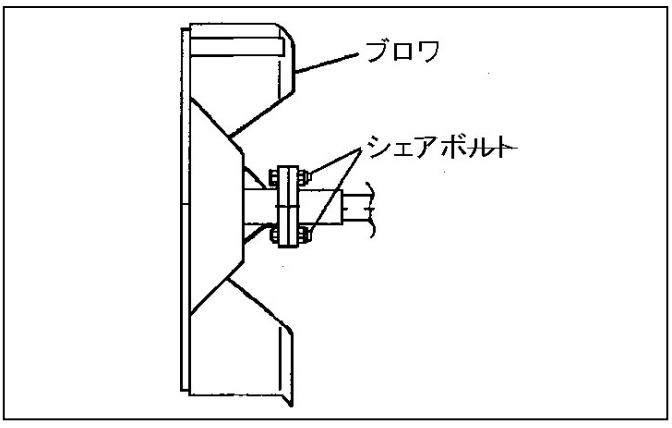
注 意

シェアボルトは上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

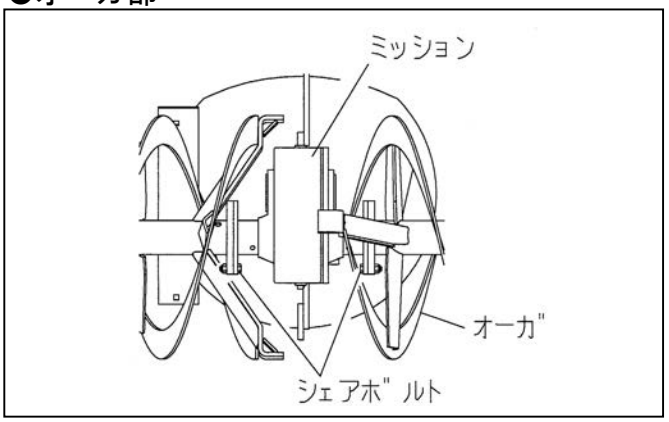
◆ せん断したら交換してください

せん断したボルトを除去し、穴合わせをしてからシェアボルトを入れ、
●ブロワ部　バネザガネ・ユルミドメナット
●オーガ部　ユルミドメナット
で確実に締付けてください。

●ブロワ部



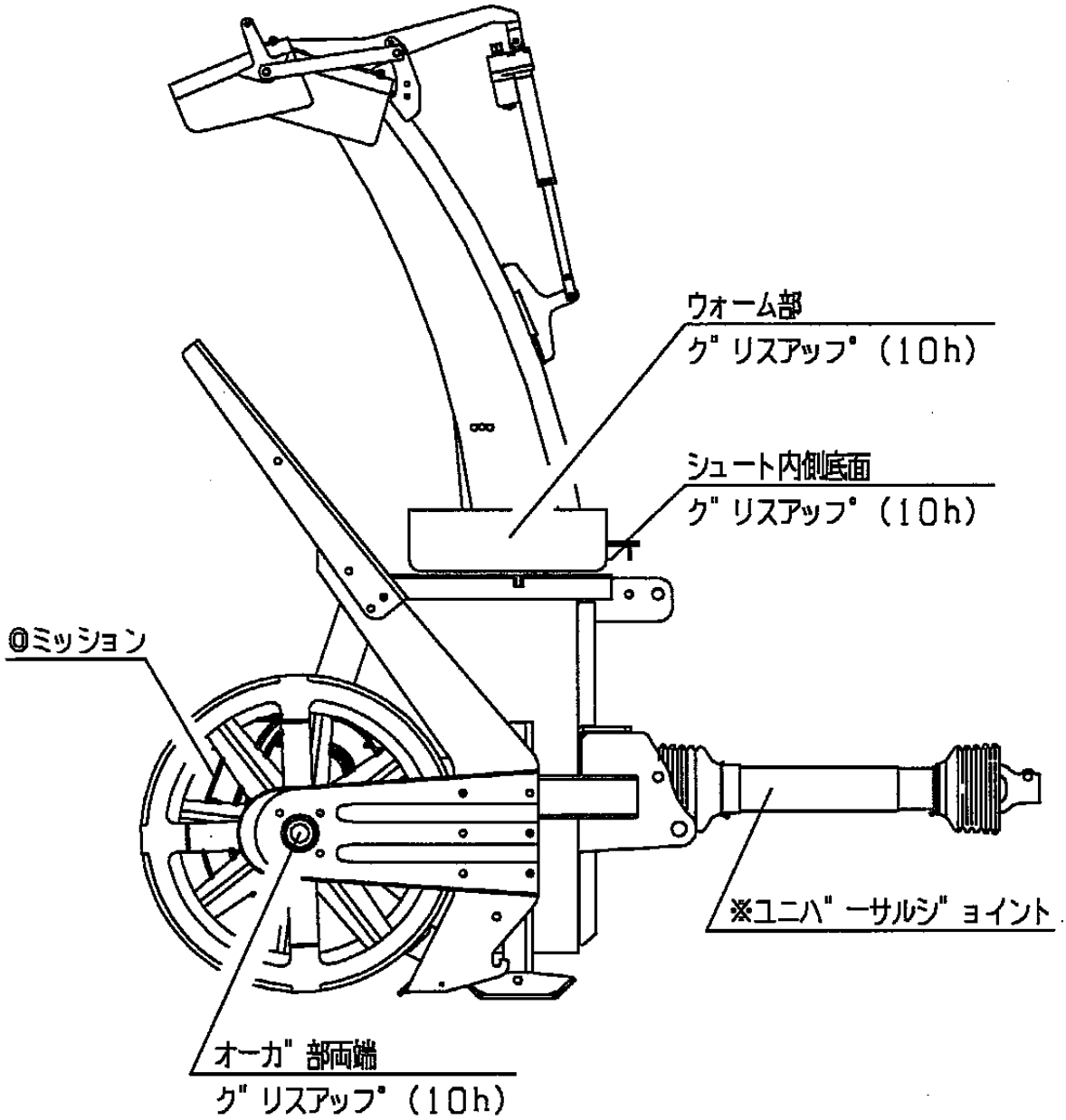
●オーガ部



３．長期格納時のお手入れ

●水洗いして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いたひもなどを取り除いてください。
●乾燥後は、各回転部・摺動部に注油・グリスアップをし、錆びないようにしてください。
●塗装の剥がれた部分には、塗料などを塗って錆びないようにしてください。
●各部のボルト･ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる時は締めてください。
●格納する時は、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

４．各部の注油・グリスアップ



◎ミッション内のギヤオイルは、100時間毎に全量(2．8 ℓ)交換してください。
(ギヤオイル ＃90)

※ユニバーサルジョイントはジョイントカバーに貼付している「ラベル」を参照して
給油・グリスアップをしてください。

不調診断

不調内容	診断	処置	参照ページ
● 雪が飛ばない	● PTO回転速度が遅い	● 回転速度を上げる（500～1000min^{-1}(rpm)）	22
	● シュートに雪が詰まっている	● 雪落とし棒で雪を取り除く	24
	● 車速が速すぎる	● 車速を落とす（0．3～0．4km/h）	22
● デフレクタが動かない	● ヒューズが切れている	● 電源コード部ヒューズ（30A）を交換する	19
	● デフレクタが凍結している	● 凍結を取り除く	19
	● 電動シリンダが故障している	● 販売店へ連絡してください	
● シュートが旋回しない	● ヒューズが切れている	● 電源コード部ヒューズ（30A）を交換する	19
	● シュートが凍結している	● 凍結を取り除き、回転部にグリスアップ	24
● 電源ランプが点灯しない	● 配線の＋－が逆になっている	● 配線を確認してください	17
	● ヒューズが切れている	● 電源コード部ヒューズ（30A）を交換する	19
● ブロワが回転しない	● シェアボルトが切断した	● シェアボルトを交換する（M8×45　強度4T　半ネジ）	24
	● ブロワが凍結している	● 凍結を取り除く	24
● オーガが回転しない	● シェアボルトが切断した	● シェアボルトを交換する（M10×40　強度8T　半ネジ）	24

付表

1. 主要諸元

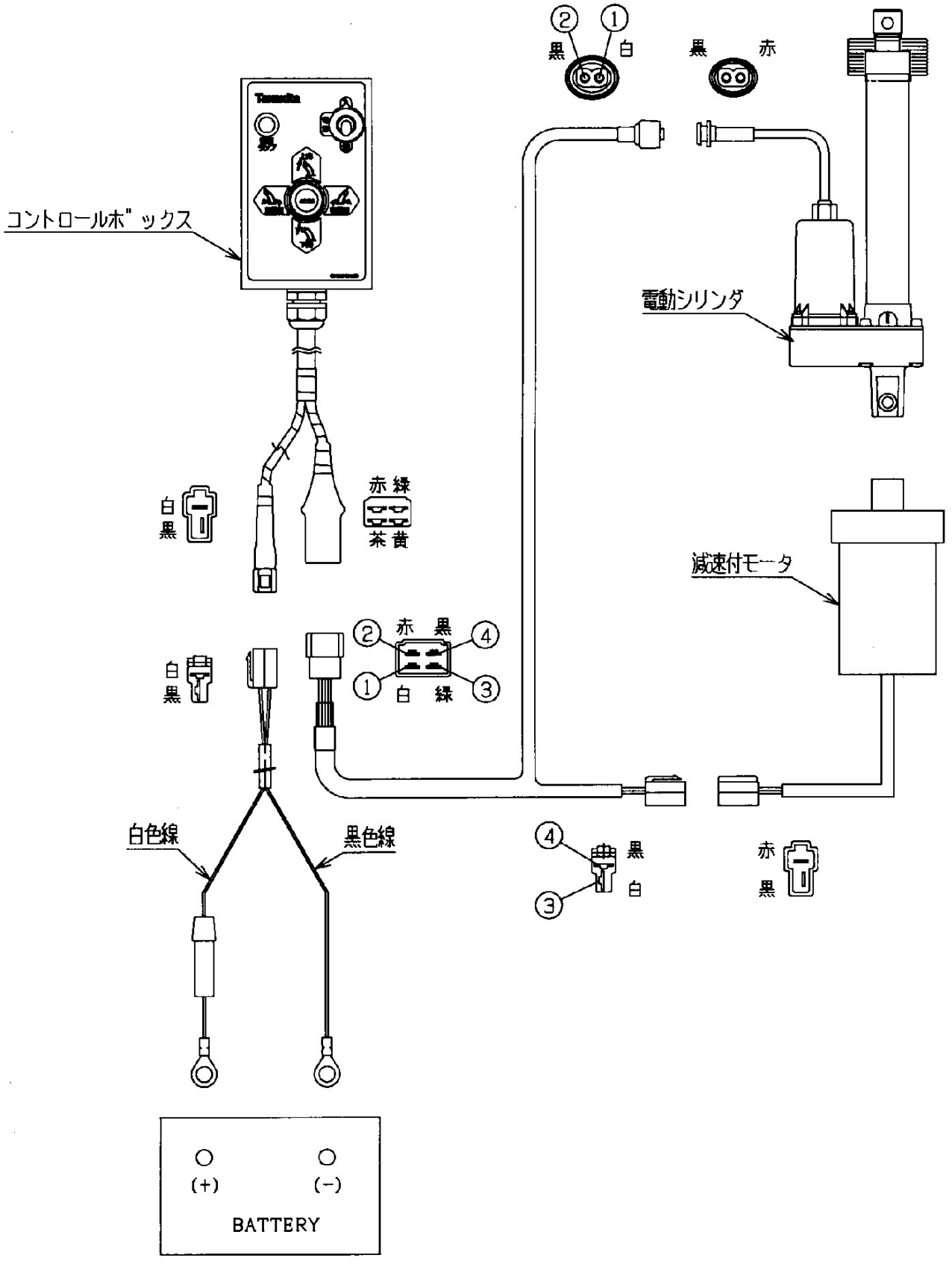
品名		スノーブロワ	
型式		SB1591E	SB1791E
装着方法		3点リンク直装式	
駆動方法		PTO駆動 （ 回転速度 500～1000 min^{-1}(rpm) ）	
適用トラクタ		13. 2～19. 1kW (18～26PS)	16. 2～29. 4kW (22～40PS)
機体寸法	全長	1, 060mm	1, 060mm
	全幅	1, 695mm	1, 845mm
	全高	2, 125mm	2, 125mm
質量		340kg	350kg
除雪幅		1, 590mm	1, 740mm
作業速度		0. 3～0. 4km／h	
作業能率		150t／h	165t／h

※機体寸法はスタンドを組付けた時の寸法です。
※質量はジョイント、スタンド、ギヤオイルを含んだ数値です。
※この主要諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品名	部品コード	備考
シェアボルト	01154 0080 45B	M 8×45(強度4T)半ネジセット
シェアボルト	01158 0100 40A	M10×40(強度8T)半ネジセット
ヒューズ	00900 0100 300	30A （シュート用）

3. 配線図



②
①
黒
白
黒
赤
コントロールボックス
電動シリンダ
白
黒
赤 緑
茶 黄
減速付モータ
②
赤
黒
④
①
白
緑
③
白
黒
白色線
黒色線
④
黒
白
③
赤
黒
(+)
(−)
BATTERY